

# 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会

## 第5回 会議 議事録（要旨）

平成25年2月14日（木）

午前10時から午前10時45分まで

市役所西庁舎4階大会議室

### I. 委員等の出欠

区分	氏名	出欠	
委員	学識経験を有する者	萩原 周	○
		村山 顕人	○
	関係団体の代表者	田中 喜作	○
		粕谷 紀光	×
		森 政信	○
		梶川 康夫	○
		加藤 武治	○
		山田 彦逸	○
		高柳 慎	○
		魚住 實	○
		加藤 茂夫	○
		辻 一敏	×
		安藤 銑吾	○
		舟橋 敬三	○
		大野 茂	○
		中山 金一	○
	市議会議員	山下 隆義	○
		神田 薫	○
		大野 厚	○
		長瀬 悟康	○
行政関係職員	鈴木 秀育	○※	
	高野 昌彦	○※	
	森 令治	○※	
	日置 英治	○	
オブザーバー	行政関係職員	福田 光祐	○

※本人欠席（代理者が出席）

区 分		氏 名
事務局	北名古屋市都市整備課	井上 昭人
		真田 和佳
		柴田 貴司
	愛知県都市整備協会	川上 晃一郎
		天谷 重治
	中央コンサルタンツ(株)	黒田 清吾
		萩田 隼平

## II. 議題等

### 1 報 告

- (1) 第4回委員会の議事要旨の報告
- (2) パブリックコメントの結果報告

### 2 議 題

- (1) まちづくり構想の策定
  - ・まちづくり構想のパンフレット

### 3 提 言

- (1) まちづくり構想の提言

### 4 その他

## III. 議事要旨

### 1 報 告

- (1) 第4回委員会の議事要旨の報告

事務局： 議事録作成のための録音の承諾を得る。

＜第4回委員会の議事要旨（資料1）の説明＞

委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし。

- (2) パブリックコメントの結果報告

事務局： ＜パブリックコメントの結果報告（資料2）の説明＞

○パブリックコメントの概要

○市民意見の概要及び市の考え方

- ・鉄道の高架下に集会所や住民活動団体の保管庫を設置してほしい。

⇒鉄道事業者と調整を図りながら検討することになりますので、今後の参考とさせていただきます。

- ・徳重・名古屋芸大駅周辺の学生の通学路を一刻も早く改善してほしい。

⇒鉄道の高架化や市街地の再整備と密接に関係するため、これらの整備にあわせて行いたいと考えています。

- ・徳重・名古屋芸大駅周辺の商業発展につながるまちづくりをお願いしたい。

⇒まちづくり構想において、徳重・名古屋芸大駅周辺は副都心核として位置付けており、賑わいを創出していきたいと考えています。

- ・徳重・名古屋芸大駅の駅施設として、芸大生や地域住民の発表の場、託児所などの整備をお願いしたい。

⇒駅施設については、鉄道事業者が中心となって検討することになりますので、今後の参考とさせていただきます。

委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 鉄道の高架化に反対する意見はありましたか。

事務局： 反対意見はありませんでした。

委員： 今後も市民への周知を行っていただきたいと思います。

## 2 議題

### (1) まちづくり構想の策定について

事務局： <北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想（案）（資料3）の説明>

委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし。

委員長： それでは、まちづくり構想についての審議はここまでとします。  
この構想（案）を最終的な構想としてよろしいでしょうか。

委員： 異議なし。

委員長： それでは、この構想（案）を本委員会のまちづくり構想といたします。

### ・まちづくり構想のパンフレットについて

委員長： パンフレットは北名古屋市と名古屋芸術大学が連携して作成しましたので、本日皆様にご報告させていただきたいと思います。

事務局： <まちづくり構想のパンフレット（参考資料）の説明>

委員長： パンフレットについては、審議ということではなく、参考資料として紹介させていただきました。

補足しますが、まちづくり構想を市民の皆様にも少しでもわかりやすくお伝えしたいということから、柔らかい表現等に留意して作成いたしました。

ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員：パンフレットはどのように配布するのですか。

事務局：4月の市の広報に折り込んで、市民の皆様全戸に配布したいと考えております。

委員：4ページの今後のまちづくりの進め方に記載されている「市民など」の「など」とはどのような意味ですか。

事務局：北名古屋市民だけでなく、例えば、他のまちから北名古屋市に来て勤めている方等も対象としたいので、「市民など」という表現にしました。

委員長：学生や買い物、イベントに参加する方など、他のまちから来られる方々を含めて表現したということです。

委員：わかりました。

1ページの右上にある列車の絵は、高架化がわかるようにしてはどうでしょうか。

事務局：ご意見を踏まえて絵の修正を検討します。

委員長：ありがとうございます。大学でも検討させていただきます。

委員：1ページに記載されている「市街地における土地の低未利用」の「低未利用」とはどのような意味ですか。

また、「鹿田」や「弥勒寺」など地区の名称が出ていますが、地区を限定している点が気になります。

事務局：「低未利用な土地」とは、放置されたままであったり、あまり有効に使われていない土地を指しております。

地区の名称については、削除した方がよろしいかどうか、皆様にご意見をいただきたいと思っております。

委員長：具体的な地区の名称を記載してもよいかどうかについて、何かご意見はありますか。

委員：「鹿田」や「弥勒寺」以外の地区でも低未利用の土地はあるでしょうし、「低未利用な土地もある」という意味合いの方がよいと思っております。

委員：「低未利用」の表現についてですが、「市街地における土地の最も効果的な利用がなされていない」というような表現にしてはどうでしょうか。

事務局：「低未利用」については、専門的な言葉でもありますので、わかりやすい表現にしたいと思います。

また、地区の名称の表記につきましては、委員の方がおっしゃられたように、土地の低未利用は「鹿田」や「弥勒寺」に限った話ではありませんので、地区の名称を削除します。

委員長：それでは、地区の名称については、名称を外して地域やゾーン程度の表現に変更するということと、「低未利用」については、「積極的に

活用されていない」というような言葉に変更する、という対応でよろしいでしょうか。

委員： 異議なし。

委員長： それでは、事務局も含め、そのように対応していただきたいと思います。

### 3 提言

(1) について

事務局： 本日、皆様にまちづくり構想を策定していただきましたので、委員長、副委員長から市長へまちづくり構想を提言していただきたいと思っております。

市長が参りますまで、しばらくお待ちください。

<市長到着>

事務局： それでは、お願いいたします。

委員長： 5回にわたる委員会で検討し、とりまとめさせていただきましたまちづくり構想でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

委員長： <市長へ提言書を提出>

副委員長：

事務局： ありがとうございました。

### 4 その他

事務局： 本日の委員会の資料と議事要旨を市ホームページで公表いたします。

また、本日の委員会の内容をまちづくりニュースとしてまとめ、広く周知を図ります。

委員長： 以上で、本日本日予定していました議題はすべて終了いたしました。司会を事務局にお返しします。

事務局： ありがとうございました。

長きにわたりまして皆様にご協力いただき、本日無事にまちづくり構想を策定していただいたことを、大変感謝しております。

本日が本委員会の最後となりますので、委員会の運営にとりわけご尽力いただいた委員長、副委員長から一言いただければと存じます。

委員長： 5回の委員会を重ねまして、本日本日まちづくり構想をとりまとめることができました。皆様のご協力がありましてここまでできたことを大変うれしく思っております。

この地域にある大学を代表して、少しでもこの地域の将来に貢献できればと思い、私も積極的に参加させていただきました。

今回の構想で、将来への大きな枠組みが出来上がったと思います。

しかし、細かいことについては、これから知恵を絞っていかなければいけない段階に入っていくと考えられますので、大学としても、できるだけ協力させていただいて、積極的に発言したいと思っております。

また、本日お集まりいただいている行政及び地区の代表の方々にも今後も協力していただき、よりよいまちづくりを行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

副委員長： 今回の鉄道周辺まちづくり構想は、鉄道の高架化という 100 年に 1 回ほどの大きなプロジェクトに関わる非常に大切な構想でした。

委員会の途中段階で、鉄道の高架化が有効な理由や駅前広場の配置検討が議論になったときも、比較表を作成したり、複数の案を出して長所・短所を整理してまとめるというプロセスも含め、とても細かく検討できたと思います。事務局の皆様には、あらためて感謝を申し上げます。

このまちづくり構想は基本的な方針が記載してあります。これからのゾーンや駅周辺の具体的な空間形成は、この方針に則って展開していただけるとよいと思います。

具体的な場所の整備については様々な意見が市民の皆様から出てくると思われるので、なるべくオープンな形で多くの方が参加でき、積極的に提案できるような体制を考えていただきたいと思います。構想の 26 ページはそのことを意識して記述しましたので、よろしくお願いいたします。

私としてもこれからの北名古屋市の取組を大変楽しみにしております。

ありがとうございました。

事務局： 委員長、副委員長、ありがとうございました。

それでは最後に市長から一言ごあいさつを申し上げます。

市長： 皆様ご多忙の中、本委員会でのまちづくり構想の作成にご尽力いただきましてありがとうございます。

この構想は、委員長、副委員長をはじめ委員の皆様のご思いが凝縮されたものだと思っております。

これからの北名古屋市は無数の可能性と市民の大きな期待を受け、発展を続けていくものと考えております。

特に、市民の皆様は安心、安全で、うるおいや一体感を感じられるまちづくりを期待しております。私もまちづくりを執行する立場として、真摯にこの提言書を受け止め、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

これから様々な課題等も出てくると思いますが、一つ一つ丁寧に協議を重ね、実のあるものにしていきたいと思っております。これからも委員の皆様にはお支えをお願い申し上げます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

事務局： ありがとうございました。

以上を持ちまして、北名古屋鉄道周辺まちづくり構想策定委員会を終了させていただきます。皆様、1年間ありがとうございました。

以 上

(参考) 委員会の様子

